



◆億と兆

千万より大きな数のよみ方としくみをまとめましょう。

一兆 ちよう	千億	百億	十億	一億 おく	千万	百万	十万	一万	千	百	十	一
の位 ぐらい	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位
1	2	5	2	3	5	4	0	6	7	8	9	0

① 上の にあてはまる位の^{ぐらい}名前を書きましょう。

② 一万の^{ぐらい}位の6は、1万が 6 ^{あらわ}こあることを表しています。

また、一億の^{おく}位の3は、1億が 3 ^{あらわ}こあることを表しています。

③ 上の数を^{かんじ}漢字で書きましょう。

一 兆 二千五百二十三 億 五千四百六 万 七千八百九十

④ 千億の^{おく}位の2は、

十億の^{おく}位の2の 100 ^{ばい}倍の^{あらわ}大きさを表しています。

百億の^{おく}位の5は、

千万の^{ぐらい}位の5の 1000 ^{ばい}倍の^{あらわ}大きさを表しています。

^{ぐらい}位が1けた上がると、
数は10倍^{ばい}になるよ。
^{ぐらい}位が2けた上がると、
数は100倍^{ばい}になるよ。



⑤ 一兆の10倍^{ばい}の数は 十兆 ^{ちよう}といい、 100000000000000 ^{ちよう}と書きます。

⑥ 百兆は一兆の 100 ^{ちよう}倍^{ばい}の数で、十兆の 10 ^{ちよう}倍^{ばい}の数です。

⑦ 百兆の10倍^{ばい}の数は 千兆 ^{ちよう}といい、 10000000000000000 ^{ちよう}と書きます。

一、十、百、千の^{かえ}くり返しだね。





◆大きな数の書き方としくみ

つぎ
次の数を、下に数字で書きましょう。

- ① 1 億を 5 こあつめた数
- ② 10 億を 7 こと、1 億を 3 こと、
100 万を 5 こあつめた数
- ③ 1 億を 120 こあつめた数
- ④ 10 億を 150 こあつめた数

ヒントだよ！



- ① 1 億が 2 こで、2 億だよ。
- ② 10 億が 3 こで、30 億だよ。
- ③ 1 億が 100 こで、100 億だね。
- ④ 10 億が 10 こで 100 億、
100 こで 1000 億だよ。

- ⑤ 千三百億
- ⑥ 千四百九十五億七千万
- ⑦ 八千二億五百二十万
- ⑧ 七千三十億六千五百四十七
- ⑨ 九兆二百三十億四十万八千六百
- ⑩ 五兆三千二百四十六億

- ⑤ 千億から一億の位に、1300 と
書けばいいんだね。
- ⑥ 千万の位の数字は、7 だね。
- ⑦ 千億から一億の位は、8002 だね。
- ⑧ 千万から一万の位はないから、
0 を書くよ。
- ⑨ 千億の位の数字は何かな。
千万や百万の位の数字は何かな。
- ⑩ ひとりで考えてみよう！

七千八百五十二万

九千三百八十七



	一兆 ちよう	千億 おく	百億	十億	一億	千万	百万	十万	一万	千	百	十	一
①					5	0	0	0	0	0	0	0	0
②				7	3	0	5	0	0	0	0	0	0
③			1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④		1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤		1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥		1	4	9	5	7	0	0	0	0	0	0	0
⑦		8	0	0	2	0	5	2	0	0	0	0	0
⑧		7	0	3	0	0	0	0	0	6	5	4	7
⑨	9	0	2	3	0	0	0	4	0	8	6	0	0
⑩	5	3	2	4	6	7	8	5	2	9	3	8	7



◆大きな数のたし算、ひき算

65 億^{おく} + 32 億^{おく} の計算のしかたを考えましょう。

1 億^{おく} をもとにして考えると…。

65 億^{おく} は 1 億^{おく} が **65** こ

32 億^{おく} は 1 億^{おく} が **32** こ

あわせて 1 億^{おく} が **97** こ

$$65 \text{ 億} + 32 \text{ 億} = \mathbf{97 \text{ 億}}$$



382 兆^{ちよう} - 76 兆^{ちよう} の計算のしかたを考えましょう。

1 兆^{ちよう} をもとにして考えると…。

382 兆^{ちよう} は 1 兆^{ちよう} が **382** こ

76 兆^{ちよう} は 1 兆^{ちよう} が **76** こ

のこりは 1 兆^{ちよう} が **306** こ

$$382 \text{ 兆} - 76 \text{ 兆} = \mathbf{306 \text{ 兆}}$$



◆整数のしくみ

850 億^{おく} の 10 倍^{ばい}、100 倍^{ばい}、 $\frac{1}{10}$ の数を書きましょう。

10 倍すると、位^{ばい}が 1 つ上がるから、
0 が 1 つふえるね。
 $\frac{1}{10}$ にすると、位^{くらい}が 1 つ下がるから、
0 が 1 つへるね。



			8	5	0	0	0	0	0	0	0	0
--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一兆 ^{ちよう}	千億 ^{おく}	百億	十億	一億	千万	百万	十万	一万	千	百	十	一
		8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

$\frac{1}{10}$

10 倍

100 倍



◆大きな数のかけ算

359 × 704 の計算のしかたを考えましょう。

			3	5	9
		×	7	0	4
		1	4	3	6
2	5	1	3		
2	5	2	7	3	6

$$\begin{array}{r} 359 \\ \times 704 \\ \hline 1436 \\ 000 \\ \vdots \end{array}$$

ひっさん
の筆算を
かんたん
にすると…。

くらい
位ごとに分けて
かければいいね。



23 億 × 30 の計算のしかたを考えましょう。

1 億をもとにして考えると…。

23 億は 1 億が **23** こ
23 億 × 30 は
1 億が **23** × **30** こ

筆算で考えると…。

$$\begin{array}{r} 2300000000 \\ \times 30 \\ \hline 6900000000 \end{array}$$

$$23 \text{ 億} \times 30 = \text{690 億}$$

◆練習

① 457 × 217

② 530 × 608

③ 19 兆 × 80 = 1520 兆

		4	5	7
	×	2	1	7
	3	1	9	9
	4	5	7	
9	1	4		
9	9	1	6	9

		5	3	0
	×	6	0	8
	4	2	4	0
3	1	8	0	
3	2	2	2	4

1 兆をもとにして
考えると…。

